

働くすべての人が尊重される職場へ

ジェンダー平等要請行動

連合熊本は6月23日(火)、ジェンダー平等の実現に向け、熊本労働局へ要請行動を行いました。職場における男女間の賃金差異や、女性管理職比率の把握、ハラスメント防止の強化、育児・介護と仕事の両立支援など、働くすべての人が安心して力を発揮できる環境整備を求めました。労働局との意見交換では、現場の声を直接伝えることで、制度改善への具体的な一歩につながることを確認しました。ジェンダー平等は、労働組合運動の根幹であり、社会全体の持続的な発展にも不可欠です。連合熊本は今後も、行政や企業と連

携しながら、誰もが尊重される職場づくりを進めていきます。今回の要請行動は、その決意を改めて示す機会となりました。



要請行動出席メンバー



要望書を提出する乗富ジェンダー平等委員長と女性委員会 中山副委員長

働く人の声を政策へ 連合熊本推薦議員団総会・学習会

連合熊本は6月25日(木)、水前寺共済会館グレースシアにて連合熊本推薦議員団の総会・学習会を開催しました。2025年度の活動報告、会計・監査報告や2026年度の活動方針について議論が行われました。その後の学習会では熊本大学の中内教授を講師に迎え、「高市権権が構想する労働時間規制」と題して講演をいただきました。講演では、長時間労働の是正や多様な働き方の推進、労

働者保護の課題などが具体的に示され、参加者は現場の課題と政策の方向性を照らし合わせながら理解を深めました。議員団としても、働く人の声を政策に反映させる重要性を再確認し、連合熊本の運動と連携しながら取組を進めていく決意を固めました。

今回の総会・学習会は、政策課題への認識を共有し、より良い労働環境の実現に向けた一歩となりました。



学習会にて講演する中内教授



総会にて挨拶する岩田代表

編集後記

今号を作成している頃、梅雨が明けました。熊本が「本日一番熱い地域」と報道されることも珍しくなくなり、いよいよ酷暑との戦いが始まりました。野外でのお仕事や活動の際には、ご注意ください。一昔前の暑さとはレベルが異なり、年々厳しさが増していると感じます。

今年は特に湿度と熱気が重なり、体力を奪われる日が続いています。無理をせず、休息と水分補給を徹底しながら、この夏を乗り切りたいものです。皆さまが安全に活動できることを心より願っております。地域の行事や、子どもたちの活動も、暑さ対策を講じながらの運営が欠かせません。どうか健康第一でお過ごしください。

Topics

RENGO KUMAMOTO

連合熊本公式SNSのご案内

X(旧ツイッター)



連合熊本



rengo_kumamoto



<https://twitter.com/RengoKumamoto> https://www.instagram.com/rengo_kumamoto/

私達とつながって下さい!



今後の主なスケジュール

7月28日 連合熊本第5回中小地場共闘センター会議

29日 連合熊本第5回女性委員会幹事会

8月4日 連合熊本2026年度下期会計監査

5-6日 平和行動in広島

8-9日 平和行動in長崎

19日 連合熊本第10回執行委員会

〃 連合熊本第3回構成組織・地協代表者合同会議

〃 連合熊本第3回地協議長・事務局長会議



RENGO KUMAMOTO

新たな社会をめざして

連合熊本

3811情報

発行 日本労働組合総連合会
熊本県連合会
発行・編集責任者 徳富 幸平
編集者 東 郷史

〒862-0976
熊本市中央区九品寺1丁目17-9
☎(096)375-3811 FAX (096)375-3017
印刷所 株式会社 チューイン

2026年7月27日発行 No. 405

賃上げ額は15,334円 3年連続4%台を維持 2026春季生活闘争・最終集計

連合熊本は、2026春季生活闘争における第4回集計最終結果を7月8日(水)に公表しました。

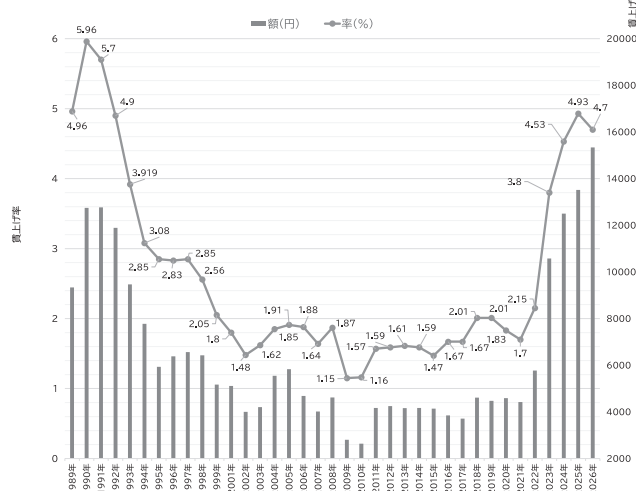
熊本県全体で回答(連合熊本7月6日集計)を引き出した87組合で熊本県全体の賃上げ額は15,334円 4.70%(昨年同時期比1,819円増 0.23ポイント減)、300人未満は12,559円 4.81%(昨年同時期比179円増 0.37ポイント減)、300人以上は16,337円 4.66%(昨年同時期比2,222円増 0.11ポイント減)となりました。全体・中小組合(300人未満)・300人以上とも昨年同時期と比べ賃上げ額が伸び、率は4%台を獲得しました。物価上昇が続く中、各労働組合が最後まで組合員の生活向上のために粘り強い交渉の結果、額で昨年を超える賃上げに繋がりました。一方で、熊本県全体と300人未満の賃上げ額差が2,775円(昨年同時期は額差1,135円)と賃金の企業規模間格差が拡大していることが今後の課題となります。

賃上げが明確にわかる80組合の全てで昨年を上回るベースアップ(賃金表の改善)を獲得し「金属」「化学・食品・製造等」が5%以上を超える賃上げ率で全体をけん引しました。また、「インフラ・公益」でも、16組合でベースアップが実施され4%台の賃上げ率となるなど賃金改善の裾野が広がりました。「物価高騰」「人材の確保・流出防止」を背景に企業の賃上げ意識が高まり「定期昇給」「ベースアップ」を組み合わせた賃金改善が着実に進展しています。多くの労働組合で「労働協約条件の改定」「価格転嫁への取組」「非正規雇用に係る要求」「ジェンダー平等に係る要求」など多岐にわたる要求についても前進が図られました。

熊本県においては、生活改善を目的とした粘り強い交渉が最後まで展開され、継続的な賃上げの重要性が改めて示されました。一方で、中小地場企業は賃上げ原資の確保が依然として課題であり、適切な価格転嫁と取引適正化の推進が不可欠です。

連合熊本は、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配の実現に向け、構成組織と連携しながら今後も賃上げと労働環境改善の取組を推進していきます。また、未妥結組合の要求実現を支援するとともに、地域経済の好循環につながる持続的な賃上げの定着をめざして取組を継続していきます。

連合熊本 賃上げ集計推移
(平均賃金方式・組合員一人当たり加重平均)



[連合熊本]2026春季生活闘争 第4回賃上げ回答集計結果

熊本集計		組合員数による加重平均						
平均賃金方式		2026年7月6日 集計			昨年対比	2025年7月9日 集計		
		組合数	定義相当分 組合員数	定義相当分 賃上げ計		組合数	定義相当分 組合員数	定義相当分 賃上げ計
		組合数	組合員数	賃上げ計		組合数	組合員数	賃上げ計
		87 組合 24,355 人	15,334 円	4.70 %	1,819 円 ▲ 0.23 着イ	81 組合 19,489 人	13,515 円	4.93 %
300人未満		65 組合 6,468 人	12,559 円	4.81 %	179 円 ▲ 0.37 着イ	60 組合 6,717 人	12,380 円	5.18 %
300人以上		22 組合 17,887 人	16,337 円	4.66 %	2,222 円 ▲ 0.11 着イ	21 組合 12,772 人	14,115 円	4.77 %

※ 2026年7月6日 集計と2025年7月9日 集計は、集計対象組合が異なるため、単純比較はできません。
※ 「定義相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定義相当分+賃上げ分」と一致しません。

賃上げ分が明確に分かる組合の集計(熊本集計)

平均賃金方式	2026年7月6日 集計(組合員数による加重平均)					2025年7月9日 集計(組合員数による加重平均)				
	組合数 組合員数	計	定義相当分	※賃上げ分		組合数 組合員数	計	定義相当分	賃上げ分	
全体	80 組合 23,845 人	額(円)	15,467	6,622	10,461	74 組合 18,329 人	額(円)	13,610	4,564	10,574
		率(%)	4.72	1.55	3.04		率(%)	4.92	1.44	3.66
300人未満	58 組合 5,958 人	額(円)	12,853	3,744	10,060	55 組合 6,392 人	額(円)	12,314	3,320	9,834
		率(%)	4.89	1.48	3.55		率(%)	5.17	1.31	4.15
300人以上	22 組合 17,887 人	額(円)	16,337	7,584	10,594	19 組合 11,937 人	額(円)	14,304	5,341	10,959
		率(%)	4.66	1.57	2.86		率(%)	4.77	1.52	3.41

※ 2026年回答と2025年回答は、集計対象組合が異なるため、単純比較はできません。
※ 「賃上げが明確に分かる組合」とは、「※賃上げ分」の金額を報告いただいている組合となります。
※ 「計」は「定義相当分」が未報告の場合があるため「定義相当分+賃上げ分」と一致しません。



熊本日日新聞

平和の尊さを学び、次世代へ伝えるために

平和行動 in 沖縄

連合は、6月23日（火）から25日（木）にかけて「平和行動 in 沖縄」を開催しました。連合熊本からは8名が参加し、沖縄戦の実相に触れることで、平和の尊さを改めて胸に刻むことを目的として取組ました。

ひめゆりの塔・資料館や平和祈念公園・資料館では、住民を巻き込んだ激しい地上戦の記録や、戦争が日常を奪っていった過程を学びました。参加者一人ひとりが深い衝撃を受けるとともに、平和を守る責任を強く感じる機会となりました。

また、糸数アブチラガマ（自然洞窟）では、当時の避難生活を想像しながら、戦争の悲惨さを身体で受け止める貴重な時間となりました。

今回の行動で得た学びを職場や地域へ広げ、二度と戦争を繰り返さない社会を築くため、連合熊本は今後も平和運動を着実に進めていきます。

- 1日目
- 平和オキナワ集会
・第1部 基調講演「報道から平和を問う」
講師 赤嶺 由紀子氏（沖縄タイムス編集局長）
・第2部 平和式典

23日（火）は「沖縄慰霊の日」でもあり、沖縄の組織的戦闘が集結した日です。

平和オキナワ集会では、「沖縄慰霊の日」にあたり、沖縄戦で失われた多くの命に思いを寄せながら、平和の意義を改めて確認しました。基調講演では、赤嶺由紀子氏が、

報道の立場から沖縄が抱える歴史的背景や現在の課題を語り、平和を問い続けることの重要性を強調されました。平和式典では、参加者全員が静かに祈りを捧げ、平和を守り続ける決意を新たにす場となりました。



連合芳野会長挨拶



ピースフラッグ 沖縄から広島へ



熊本参加者集合写真



会場の様子



講演会の様子



ステージイベント

- 2日目
- ピースフィールドワーク
・戦跡Cコース
糸数アブチラガマ～ひめゆりの塔・資料館～魂魄の塔～平和祈念公園・資料館
○「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集会・デモ

24日（水）は、糸数アブチラガマをはじめ、ひめゆりの塔・資料館、魂魄の塔、平和祈念公園・資料館を巡り、沖縄戦の実相と多くの犠牲に向き合いました。参加者は展示や証言に触れ、平和の尊さを改めて胸に刻みしました。

その後、「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集会・デモに参加し、基地負担の軽減と地域の安全を求めて声を上げました。戦跡を学んだうえでの行進は、平和への思いをより強くする取組となりました。



ひめゆりの塔



ひめゆりの塔にて熊本参加者集合写真



フィールドワーク11号車集合写真



糸数アブチラガマのガイドによる説明



平和記念資料館



デモ行進

平和行動in沖縄参加者コメント

- 沖縄で平和の尊さを学び、家族と過ごせる日々の幸せを改めて実感しました。
- 今回平和行動に参加して、現地でしか学べない歴史や現実に触れ、平和の尊さを改めて深く感じました。
- 今回の経験を一過性のものにすることなく、平和の尊さを次の世代へ語り継ぎ、自分にできることを行動に移していきたいと思います。
- 今回初めて沖縄平和行動に参加し、戦跡や資料館で自分の目でみて肌で感じたことを周りの仲間に今後伝えていきたいと思います。二度とこの地を戦場にしないために、強い日本を我々の手で創り上げなければならないと再認識した3日間でした。
- 「命どう宝」の意味を心身で感じた三日間でした。平和に感謝し、有り難く沖縄そばを頂きました。

- 今回の研修で当時の悲惨さを痛感し、改めて平和の大切さを感じました。また、この歴史を風化させないよう今後も平和活動に努めたいと思います。
- 沖縄で戦争の悲惨さと歴史の重みを知り、平和の尊さを深く学ぶことが出来ました。
- 「平和とは？」を考える時間でした。糸数アブチラガマへ入壕し真っ暗闇の静かな時間は、私の人生において貴重な体験でした。

平和行動 in 沖縄参加者（敬称略）
中川 亜紀（情報労連）
竹原 正人（U Aゼンセン）
上田 真英（交通労連）
森崎 将博（J R連合）
吞田 美紀子（県南地協：日教組八代支部）
安武 佑一朗（青年委員会：電力総連）
尾崎 ルリ子（女性委員会：電機連合）
齊藤 智洋（連合熊本）

誰もが安心して働ける社会へ 全国一斉集中労働相談

連合は6月9日（火）・10日（水）、「女性のための全国一斉集中労働相談ホットライン～職場で悩むあなたを応援（サポート）します～」を実施しました。

連合熊本においても、ライフサポートセンターの相談員をはじめ、男女平等月間に合わせた相談会であることから、ジェンダー平等・多様性推進委員長や女性委員会の女性役員が相談対応にあたりました。

今回の相談会では、働き方やハラスメント、家庭との両立など幅広い悩みが寄せられ、相談員が一つひとつ丁寧

に対応しました。連合熊本としても、誰もが働きやすい職場環境の実現に向け、引き続き相談活動を強化してまいります。

今回の全国一斉集中労働相談は12



月に予定しています。なお、集中期間以外でも相談は受け付けていますので、仕事や生活で悩みのある方はお気軽にご連絡ください。

いこうよ レンゴーに
（電話0120-154-052）



地域で進める多様性と共生の取組 第9回男女平等参画を考える県南の集い

連合熊本県南地協は、6月21日（日）、桜十字ホールやつしろにて開催された「第9回男女平等を考える集い」に参加しました。本集いでは、



講演の様子

久木田絹代氏による講演「人間らしい働き方を求めて」が行われ、講演内容を踏まえた参加者同士の意見交換会も実施されました。

意見交換では、それぞれの職場における労働課題やジェンダー平等に関する課題について活発な議論が交わされました。参加者からは、「思い込みをなくし、無意識の差別・区別を減らしていきたい」との声や、「お互いを尊重し合い、助け合うことが大切だと改めて感じた」といった意見が寄せられました。

連合熊本としても、今回得られた学びを今後の組織運営や労働条件改善に向けた取組に積極的に反映させていきたいと考えています。



グループワーク後の発表